



平出隼仁 議員

**10年に一度の
農業振興地域の見直しは**

発展ある町づくり据え

総合的に検討する

質問・・・前回の質問から富士見町の状況は一転した。想定外の県営産業団地を利用したメガソーラー事業、大手企業の派遣切りによる人口の2%減少。今回の見直しは新たな産業の誘致、人口増加を視野に、自主財源を確保するため、用地確保を検討することが当然である。見直しのポイントと工程を、どのように考えるか。

町長・・・集落形成された地域内に指定されている農振を主体に見直す。各集落や関係団体に意見を聴取、平成25年2月を目処に素案を作成する。集落JA、森林組合、宅建協会、農業委員会等に説明、意見調整し、5月頃に見直しの内容を一般に説明、意見集約を行

う。8月頃、最終的な見直しの説明会を行い、原案を県へ提出し、承認してもらう予定。また、企業誘致は工業ではなく、地の利、環境、交通アクセスを生かした農業にシフトしていく。

質問・・・農業法人の誘致は歓迎するが、介護事業と同様、税金や補助金で自転車操業をしているだけでは、真に外貨を稼ぐことにはならない。農業に関する法律や補助制度は「農地」を守るためのものであり、「農業」を守り推進していくものではない。また、都市計画道路の見直し、土砂災害区域の指定、国道沿いにある活断層ライン等、既存のマスタープランでは永続的に人命を守り、町を発展させることは困難である。今回の見直しは都市計画と合わせ、総合的に見直す視野が必要ではないか。

町長・・・将来を見据え、表裏一体となる都市計画と農振の見直しを同時に考えることは有効である。現在、農振の指定がある場所でも人が住み、外の地域へ外貨を稼ぎに向く。また、企業活動が地域発展を促す。町の活性化に繋がることは積極的に考えたいが、一足飛びに出来ないことも事実。今まで関係しなかった宅建協会も交えて、今後の計画を十分議論し、進めていくことが肝要である。発展ある町づくりを考えていきたい。



佐久祐司 議員

**メガソーラー事業に2億
円以上の出資はないか**

出資の必要がないように

計画している

質問・・・事業に対する保険、メーカー保証の内容は。

町長・・・全壊などは保険で対応する。一般的な故障は補修契約で対応。故障による新たな費用は発生しない。

質問・・・系統連系費用など、建設費が8億円を超えた場合、町はこれ以上の出費をするのか。

町長・・・系統連系協議は予定よりも300万円多い6800万円になりそうだ。8億円のうちの300万円の誤差なので心配はない。

質問・・・発電事業開始後、資金不足に陥った時、町は出資するのか。

町長・・・出資の必要がないように計画している。心配はない。

質問・・・心配ではなく、お金を出すか出さないかを聞いています。

町長・・・出す必要がない。

質問・・・未だに出されない事業計画書事業収支計画書はいつ提示されるか。

町長・・・すでにキャッシュフローは提示している。

質問・・・今後の情報開示は。

町長・・・月1回の取締役・監査役会で事業状況を把握、検証する。その結果はオープンにしていく考えだが、月ごとに公表するかはホームページの活用を含め、検討していく。

質問・・・建設費用が相場よりも高すぎる。入札ではなくプロポーザル方式を採ったことは、間違いではなかったか。

町長・・・公募は5社が参加し、十分競争はされている。NTTファシリティーズは発電量が一番多く、コストも安い。

質問・・・NTTファシリティーズに対し、建設費抑制の交渉はしたか。

町長・・・電気工事、造成工事に2億8000万円かかる。NTTファシリティーズにはパネル等の設備に対し、努力していただいている。

質問・・・税金を払わなくては匿名組合の仕組みに、倫理的な問題はないのか。

町長・・・法的には問題はない。町は国に税金を払う必要はない。